



# 2024年7月期 決算補足説明資料

2024年9月13日

VALUENEX株式会社

東証グロース：証券コード4422

VALUENEX

# 項目

1

2024年7月期業績報告

---

2

事業概要

---

# 2024年7月期 決算ハイライト

1

売上高は前年を上回りました。各段階利益においては黒字を維持したものの投資を優先したため減益となりました。

- ・売上高 : 786百万円 (前年比 +81百万円、+11.6%)
- ・営業利益 : 4百万円 (前年比 ▲33百万円、▲87.3%)
- ・経常利益 : 5百万円 (前年比 ▲31百万円、▲84.3%)
- ・最終利益 : 3百万円 (前年比 ▲34百万円、▲90.8%)

2

ASP売上は前年同等であったものの、コンサルティング売上が前年を上回り、売上高合計では前年を上回りました。

- ・コンサルティング売上 : 455百万円 (前年比 +23.4%)
- ・ASP売上 : 321百万円 (前年比 ▲2.7%)

3

コスト (売上原価+販管費) : 781百万円 (前年比 +17.4%)

- ・人材投資コストの上昇や急激な為替変動による海外コストの増加もあり前年を上回りました。

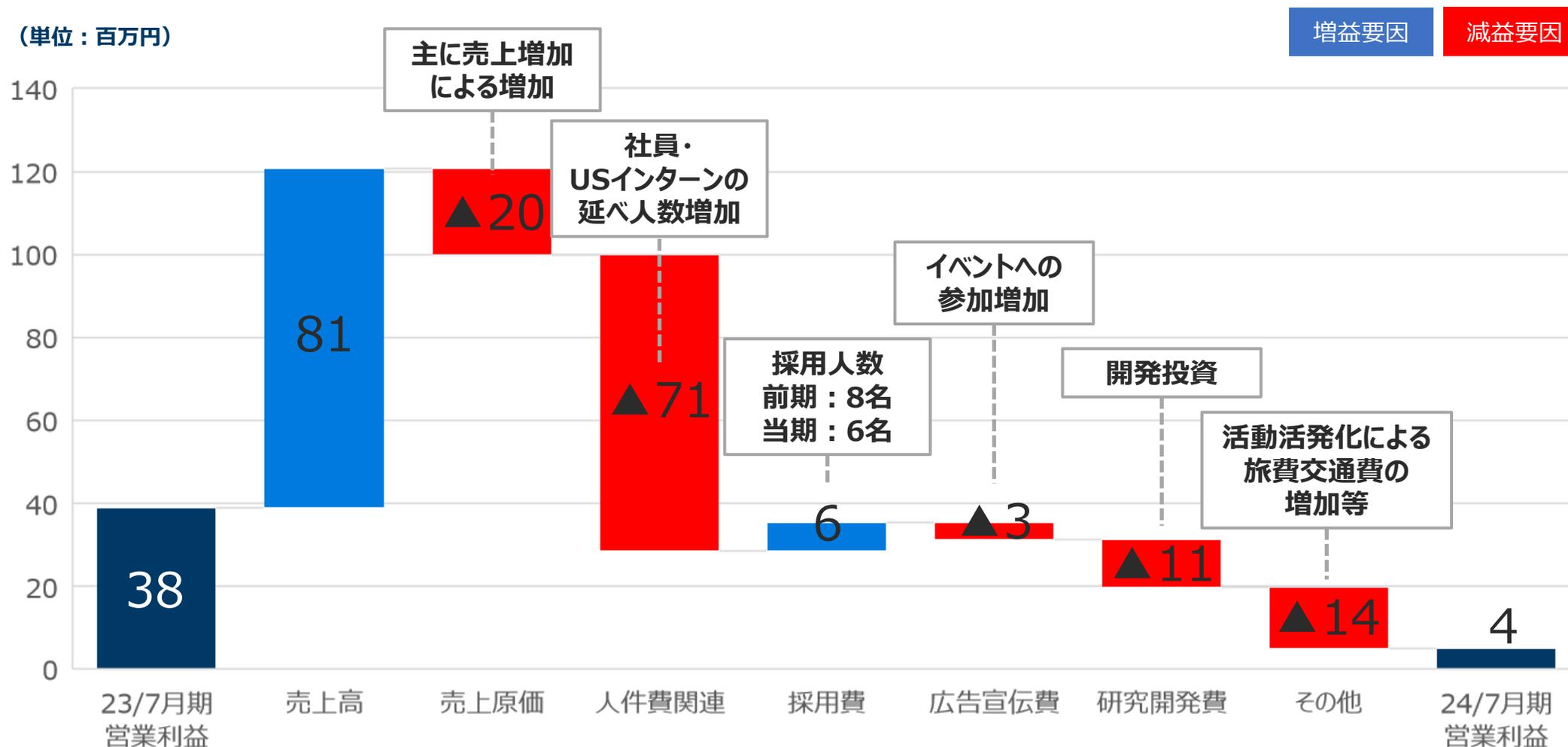
# 2024年7月期 連結業績概要

投資先行によるコスト増のため、各段階利益において減益いたしました。

(単位：百万円)	23/7月期 実績	24/7月期 実績	前年同期比	
			金額	増減率
売上高	704	786	81	+11.6%
売上総利益	537	598	60	+11.4%
販管費	498	593	94	+19.0%
営業利益	38	4	▲ 33	▲ 87.3%
経常利益	37	5	▲ 31	▲ 84.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	37	3	▲ 34	▲ 90.8%

# 2024年7月期 累計連結営業利益増減要因

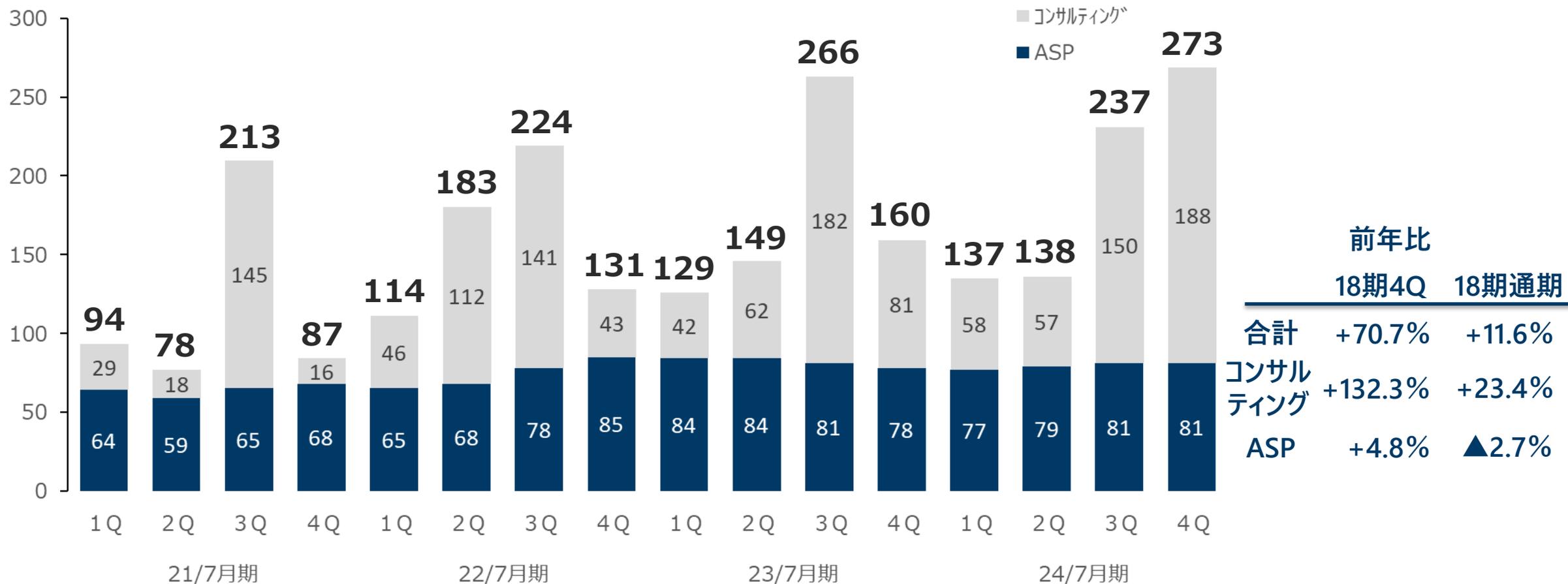
人件費増加等の減益要因により減益いたしました。



# 連結売上高の推移（サービス別）

コンサルティング売上：3~4Qで売上を伸ばし、4Q・通期ともに前年を上回りました。

ASP売上：4Qで前年を上回ったものの、通期では前年を下回りました。

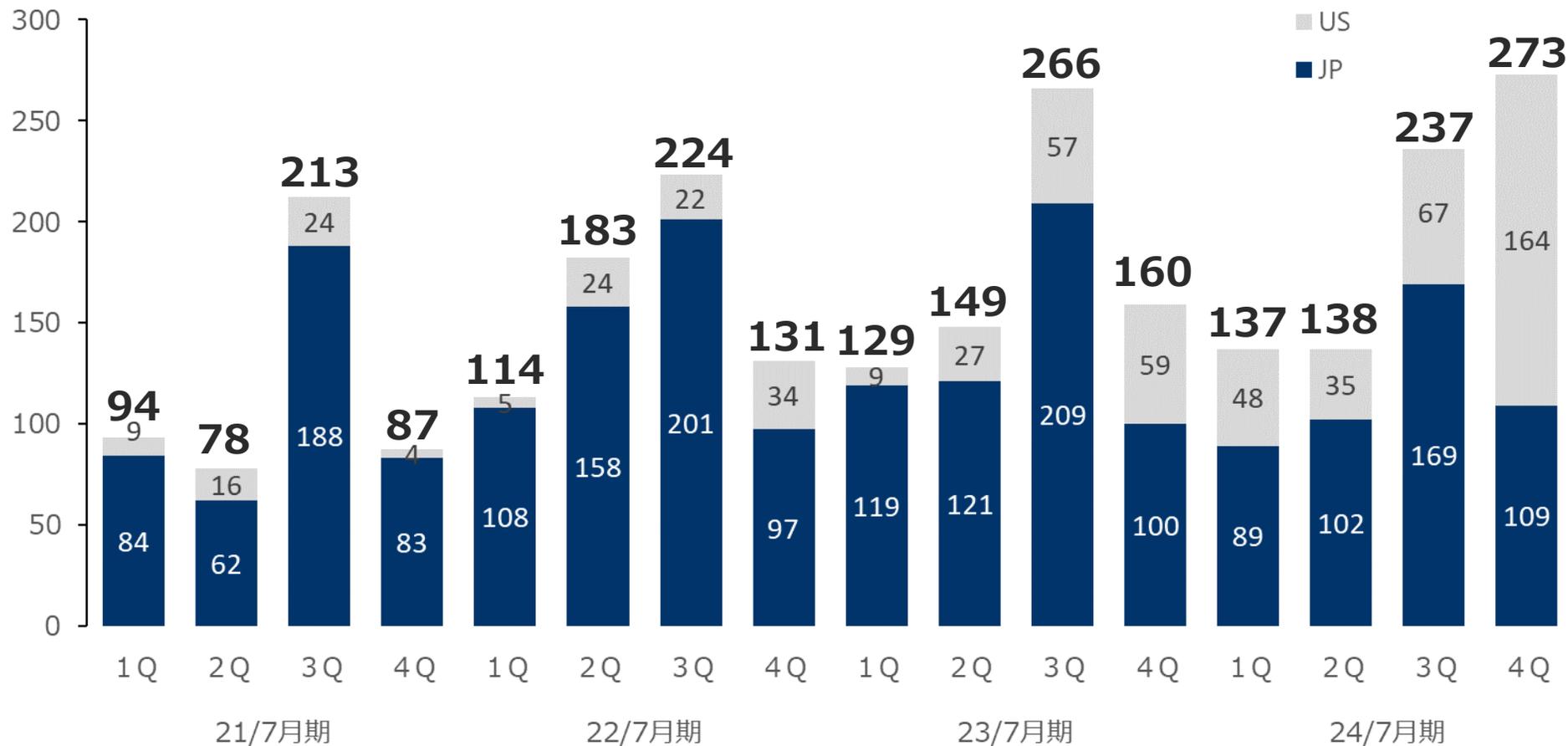


※コンサルティングとASP売上以外に、データ販売やレポート販売等のその他売上もありますが、少額のため合計値にのみ合算しております。

# 連結売上高の推移（地域別）

US：1~4Qの各期・通期で前年を上回りました。

JP：4Qは前年を上回ったものの、通期で前年を下回りました。

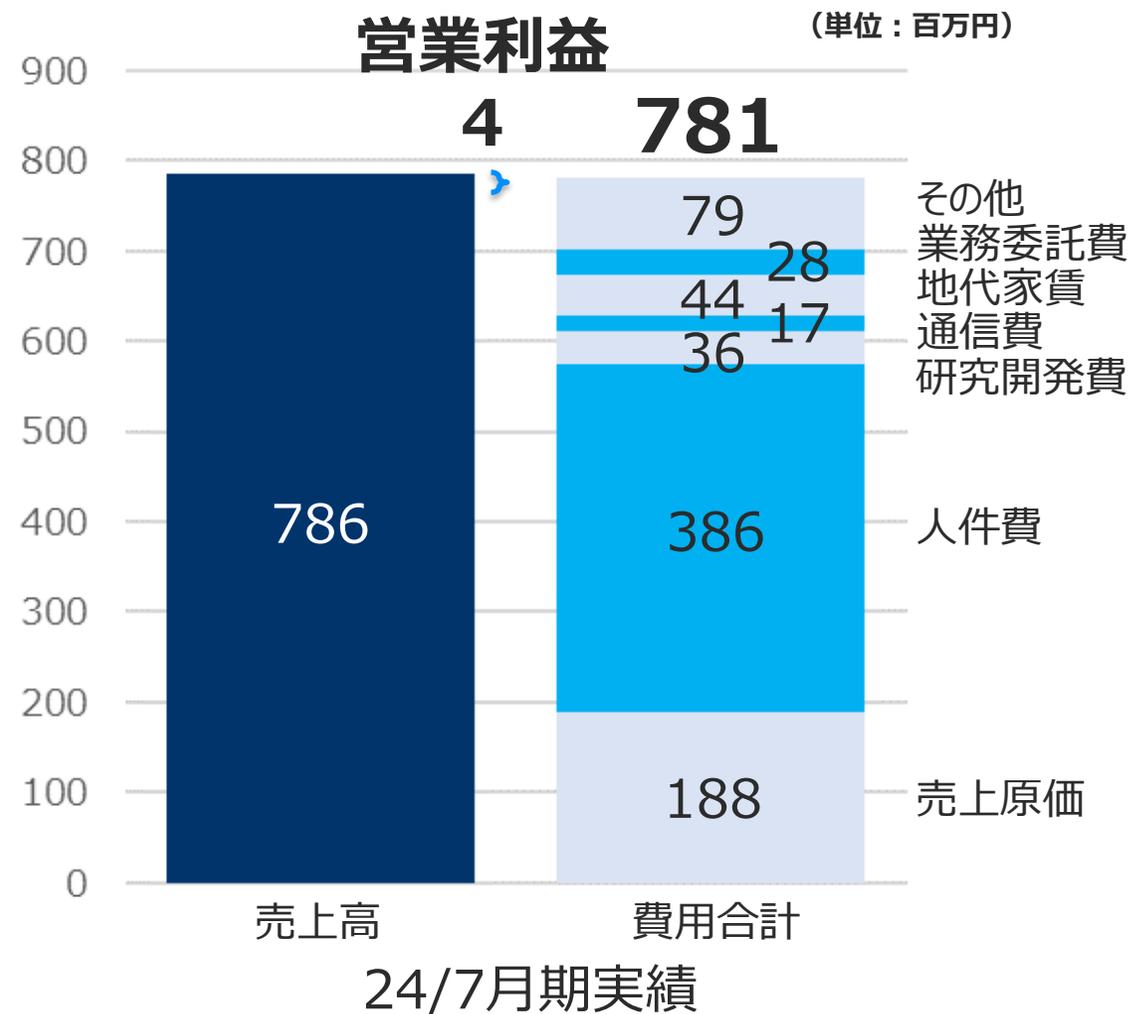
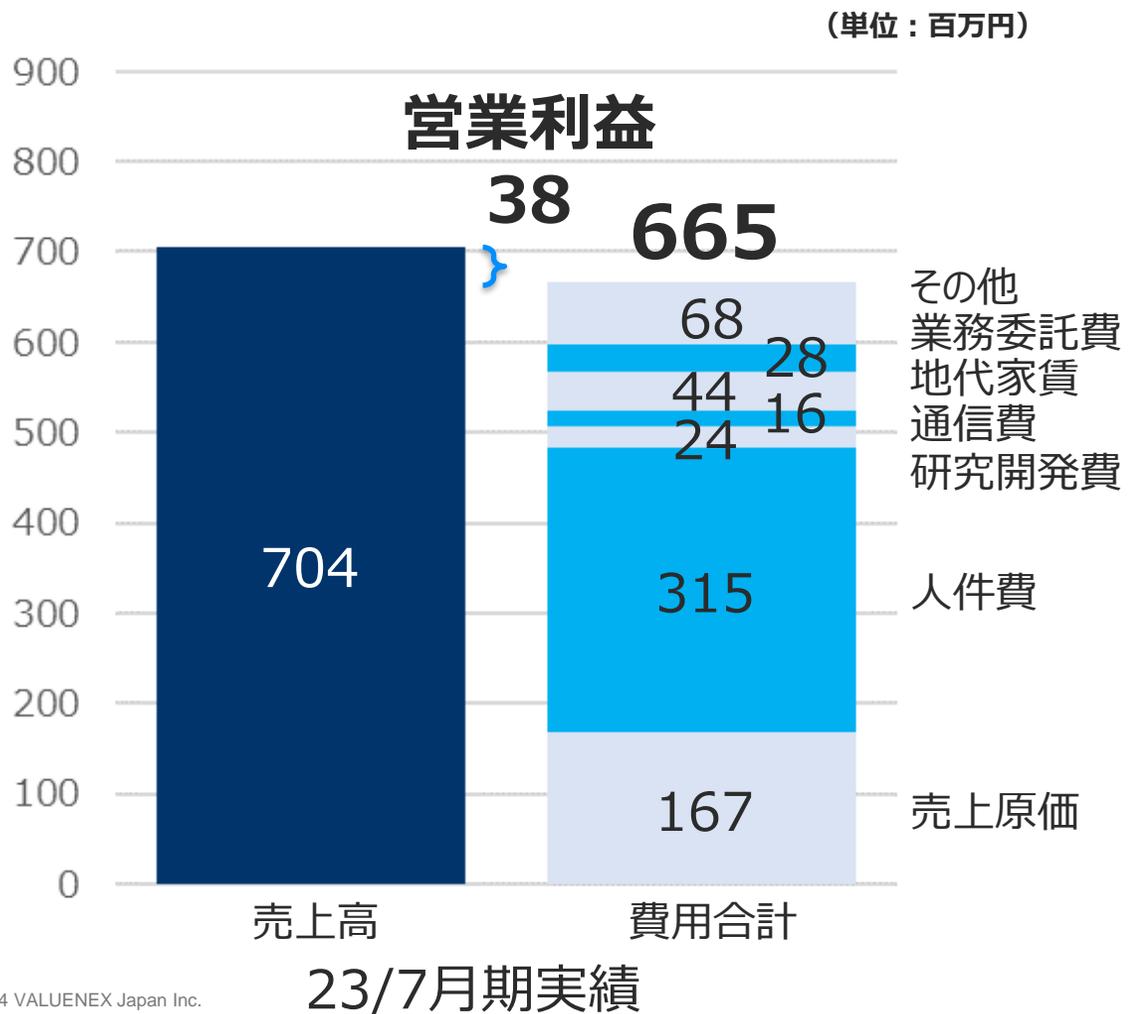


	前年比	
	18期4Q	18期通期
連結	+70.7%	+11.6%
US	+174.5%	+104.8%
JP	+8.9%	▲14.4%

# 2024年7月期 連結営業費用の内訳

売上原価の増加：売上高の上昇に伴う増加です。

人件費の増加：社員・USインターンの延べ人数が増えたことによる増加です。



# VALUENEX, Inc. (米国) 第4四半期主な活動状況

## 営業活動

- 日系大手のシリコンバレーでのイノベーション活動を支援する大型パッケージプランを継続受注し遂行しています。
- 日系大手のシリコンバレーでのイノベーションラボ活動をサポートする大型契約を継続受注し遂行しています。
- 世界で有名なワインの評論家とコラボレーションしたプロジェクトを遂行しサービスプロトタイプが完成しました。

## マーケティング

- インサイト・カフェのMeetup & Happy hourを毎月違うテーマで様々な組織とコラボレーションしながら開催し、商談化に繋がっています。
- 7月に東京で開催された量子ビジネスカンファレンスであるQ2B Tokyo 2024に参加しました。
- Q2B Tokyo 2024のVIP EventをVALUENEXが企画し、米国大使館・日本政府（経産省・内閣府）・QC Ware社を含め世界各国から約80名に参加してもらい、量子技術の最先端を走っている方々とコミュニケーションできるネットワーキング機会を提供しました。

# VALUENEX, Inc. (米国) 第4四半期主な活動状況

## 開発

- Chat GPTを活用したArea Summarizerを開発し、VALUENEXアプリに加えWEB版にも実装しました。
- 新しい可視化のアルゴリズムを検討中です。

## 採用

- 大型案件遂行のため、スタンフォード大学からインターンを多数採用しました。
- スタンフォード大学卒の正社員を2名採用しました。

## 第4 四半期の取り組み・記事掲載

### ■ 三菱電機様が当社ツールを利用した俯瞰図をイベント内で紹介

NTTコミュニケーションズ株式会社様が運営する「OPEN HUB」のイベント、『【知財×ビジネス創出セッションVol.2】 先進企業が語る、知財最新活用動向』にて三菱電機株式会社様に、VALUENEX Radarで作成した共創活動を促進する俯瞰図をご活用頂きました。

<https://www.valuenex.com/jp/news-list/mitsubishidenki-openhub-20240723>

# 第4四半期(5～7月) メディア掲載・セミナー登壇一覧

	内容	URL
メディア 掲載	2024年 7月22日 東亜合成様のグループレポート（統合報告書）に弊社ツールで作成した俯瞰図が掲載	<a href="https://www.valuenex.com/jp/news-list/toagosei-group-report-2024">https://www.valuenex.com/jp/news-list/toagosei-group-report-2024</a>
	2024年 7月23日 三菱電機様が当社ツールを利用した俯瞰図をイベント内で紹介	<a href="https://www.valuenex.com/jp/news-list/mitsubishidenki-openhub-20240723">https://www.valuenex.com/jp/news-list/mitsubishidenki-openhub-20240723</a>
	2024年 7月25日 AGC様の統合レポート2024に弊社ツールで作成した俯瞰図が掲載	<a href="https://www.valuenex.com/jp/news-list/2024-agc-integrated-report">https://www.valuenex.com/jp/news-list/2024-agc-integrated-report</a>

# 開発の状況

1. 異種データ融合・大規模データ分類マップ解析を可能にするツール(VALUENEX Radar Fusion)の本提供に向けた開発の実施
2. 開発現場で活用される品質表を自動生成するツール(Radar QFD)開発着手に向けて仕様検討を開始
3. 生成AIを活用した要約機能(Area Summarizer)の追加開発
4. 自然言語処理の改良(英語)
5. クライアントツール(VALUENEX Radarアプリ)の機能改良
6. その他(設計段階)

# 項目

1

2024年7月期業績報告

---

2

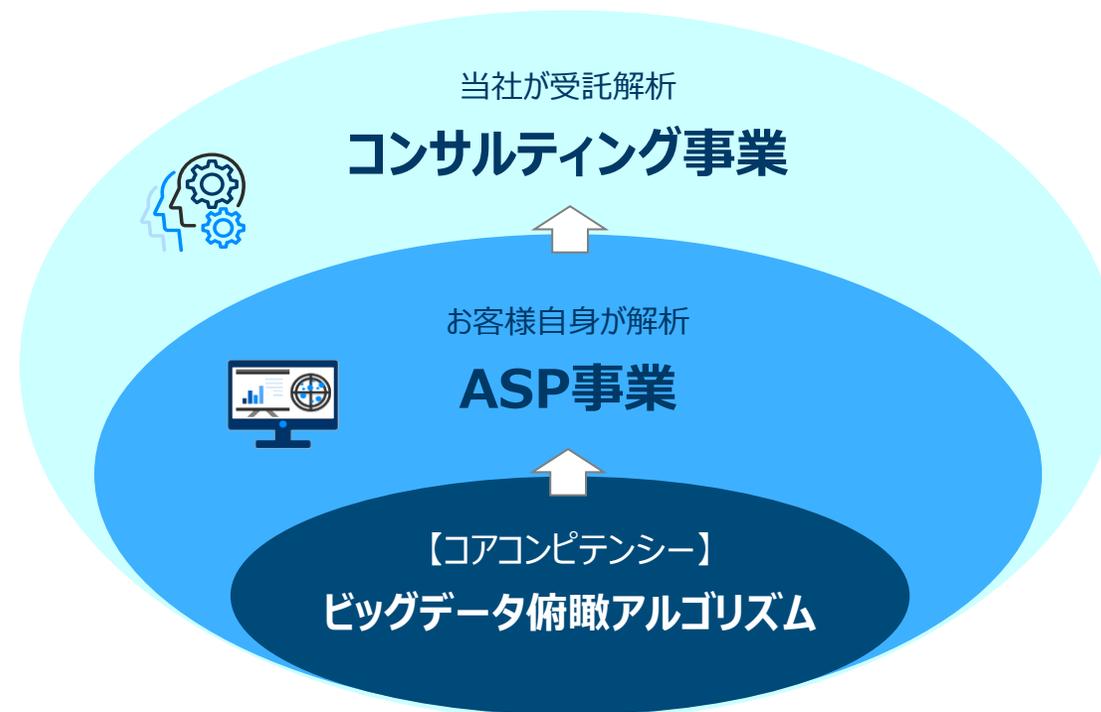
事業概要

---

# 当社のアルゴリズム事業

当社アルゴリズム事業は主に2つの販売形態から成り立っております。

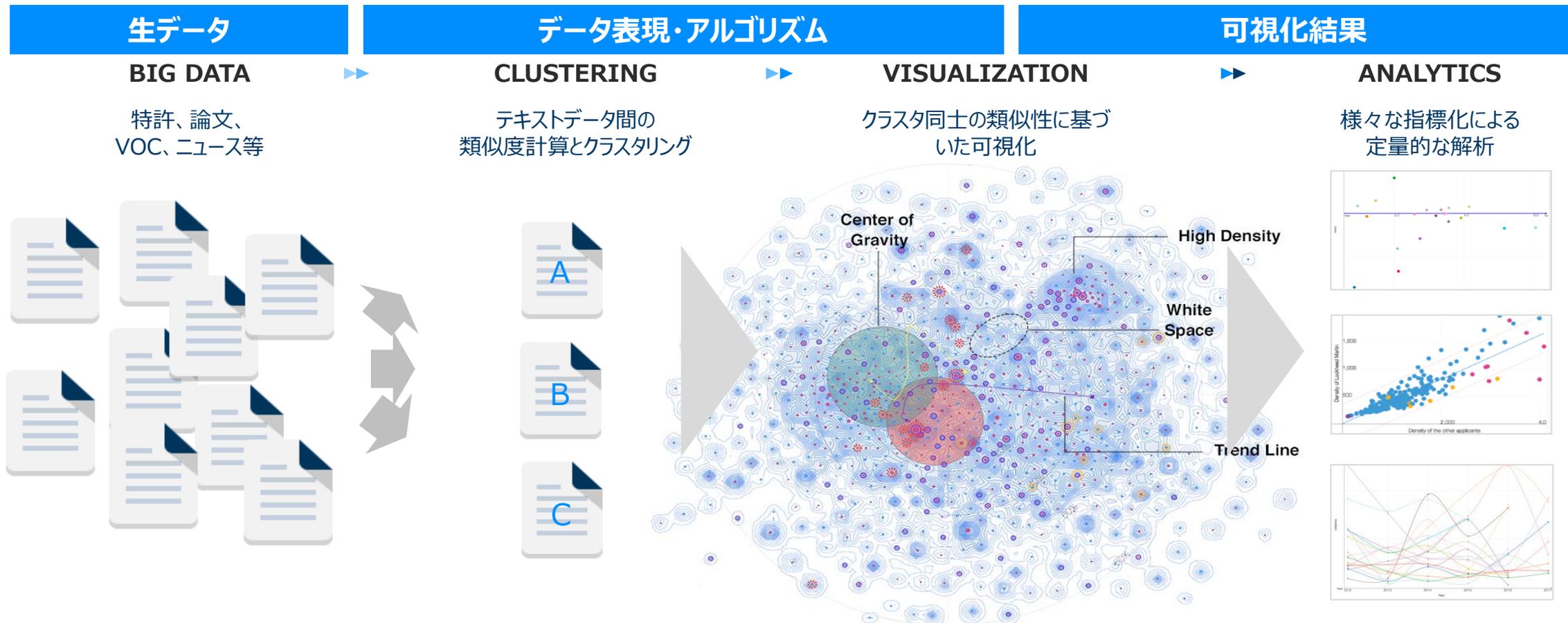
- ・ 俯瞰解析アルゴリズムを活用したコンサルティング事業
- ・ 当該アルゴリズムを根幹とするASP事業



※ ASP = Application Service Providerの略。インターネット等のネットワークを通じてアプリケーションソフトウェアを提供するサービス

# VALUENEXツールの概要

大量のテキストデータ同士の類似性を可視化した俯瞰図により、テキストデータの全体像を把握する手法です。これにより、知的財産、研究開発、マーケティング等に資する知見の獲得が可能です。

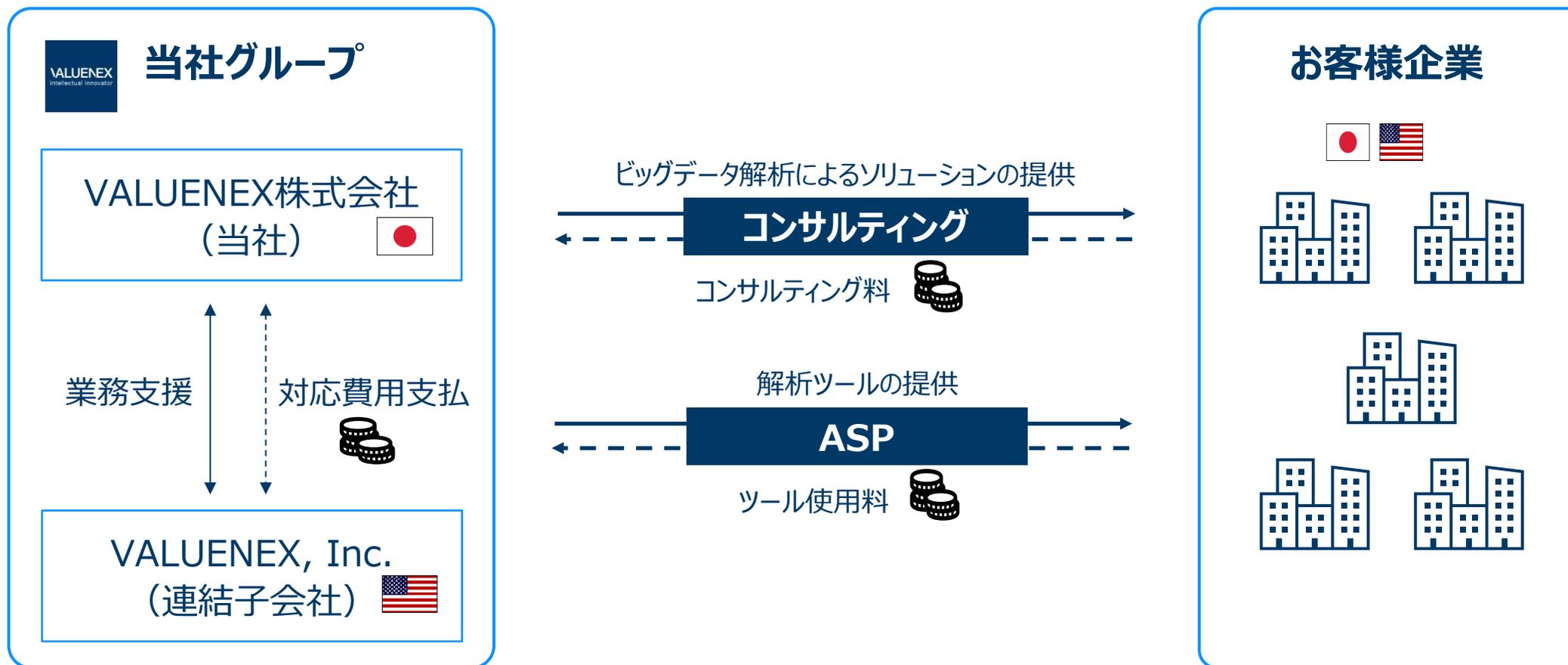


# VALUENEX サービスアウトライン

サービス	概要	解析対象テキストデータ
<p><b>コンサルティング</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご要望に応じてVALUENEXが調査・分析を実施。弊社コンサルタントが弊社のSaaSを活用し、お客様とともに課題解決を行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象データはご相談の上決定</li> <li>・特許</li> <li>・論文</li> <li>・その他文献</li> </ul>
<p><b>VALUENEX Radar (SaaS)</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>あらゆる情報源から技術動向分析、新規事業創出、市場ニーズ把握など様々なビジネス戦略に活かせるデータ解析ツールです。</li> <li>・非特許文献（論文、アンケート、VOCなど）</li> <li>・特許文献問わず、多種多様なテキストデータを解析</li> <li>・<b>高速1,000件～最大10万件</b>の文献を読み込み可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>あらゆる文献</li> <li>・特許</li> <li>・論文</li> <li>・ニュース、SNS</li> <li>・新聞、雑誌</li> <li>・アンケートなど</li> <li>・貴社内各種データ</li> <li>・スタートアップデータ</li> <li>・その他テキストデータ</li> </ul>
<p><b>VALUENEX Radar サポートサービス</b></p>	<p><b>伴走サービス</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>VALUENEX導入後の活用にご不安をお持ちの方、また初めて俯瞰解析に携わる方に、お困りの点について伴走をさせていただきます。</li> <li>・部門、ご自身の俯瞰解析スキルを向上させたいという方</li> <li>・一定レベルの俯瞰解析スキルを身につけたいという方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※特許DBはオプション販売有</li> </ul>
	<p><b>コーチング</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>VALUENEX Radarご利用のお客様向けのアシストサービス</li> <li>お客様とともにトータルで俯瞰解析のコーチングを実施させていただきます。</li> <li>・より付加価値のある解析を行いたい、特定のテーマに関する解析を全面的にサポート</li> <li>・解析観点や方法の設定、まとめ方等に不安がある方</li> <li>・DX人材、データサイエンティスト育成を検討されている方</li> </ul>	
<p><b>カスタム開発 (協業による新規事業開発)</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>お客様が提供するサービスへ俯瞰解析機能を付加、または新しく解析ツールを開発する等、新規事業を共同開発します。</li> <li>例) Stand Aloneサービス、API提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご相談</li> </ul>

# 事業モデル

当社独自の解析ツール(ASP)の提供、知的財産等幅広い分野の俯瞰解析から予測分析・戦略活用まで、コンサルティングサービスやレポート販売サービスを提供しております。



注：図中の実線矢印はサービス提供を意味し、破線矢印はお金の流れを意味します。

# Appendix

# 会社概要

社名	VALUENEX株式会社		
事業内容	アルゴリズム事業	設立	2006年8月1日
所在地	東京都文京区小日向 四丁目5番16号		
資本金	81百万円（2024年7月31日現在）		
連結子会社	VALUENEX, Inc.（100%子会社） ※在米国		
従業員数	連結35名、単体30名（2024年7月31日時点） ※役員除く		
役員	<p>中村 達生 : 代表取締役社長 CEO / 博士（工学）</p> <p>鮫島 正明 : 専務取締役 CFO / MBA</p> <p>本多 克也 : 常務取締役 先進情報学研究所長 / 博士（工学）</p> <p>片桐 広貴 : 取締役 CTO / 工学修士</p> <p>瀧口 匡 : 取締役 経営企画担当 / 博士(国際経営)</p> <p>鈴木 理晶 : 社外取締役 / 弁護士</p> <p>松田 均 : 社外常勤監査役 / 公認内部監査人</p> <p>花堂 靖仁 : 社外監査役 / 大学名誉教授</p> <p>宮内 宏 : 社外監査役 / 弁護士</p>		

# MISSION

**VALUENEXは、世界に氾濫する情報から「知」を創造していく企業です。**

**全ての人が情報を最大限に活用する未来へ。**

現代社会は情報過多の時代です。しかし、その大量の情報を適切に処理・解析できる能力が個々人に求められる一方で、情報の偏りがないことを確認することも同時に重要となっています。しかし、現状ではこれらの能力に格差が生じ、情報の活用が限定的となっています。

VALUENEXは、世界中の誰もが大量かつ必要十分な情報を独自に解析し、得られた知見を起点として新しいアイデアやコンセプトを生み出すことができる世界を実現することで前述の課題を解消し、知の創造を促進します。

誰でも知を創造できる世界の実現に向けて、私たちは情報と知識の世界において持続可能な変革と発展のために努力し続け、「知」を求める全ての人に価値を提供します。

# VISION .

我々は、世界に氾濫する大量の情報を  
**「信頼性」、「俯瞰性」、「客観性」、「正確性」、「最適性」**  
の5つの独自の視点で融合し、価値を創造する企業です。



我々は、世界に認知される企業を目指します。



我々は、自ら考え、自ら行動する企業を目指します。

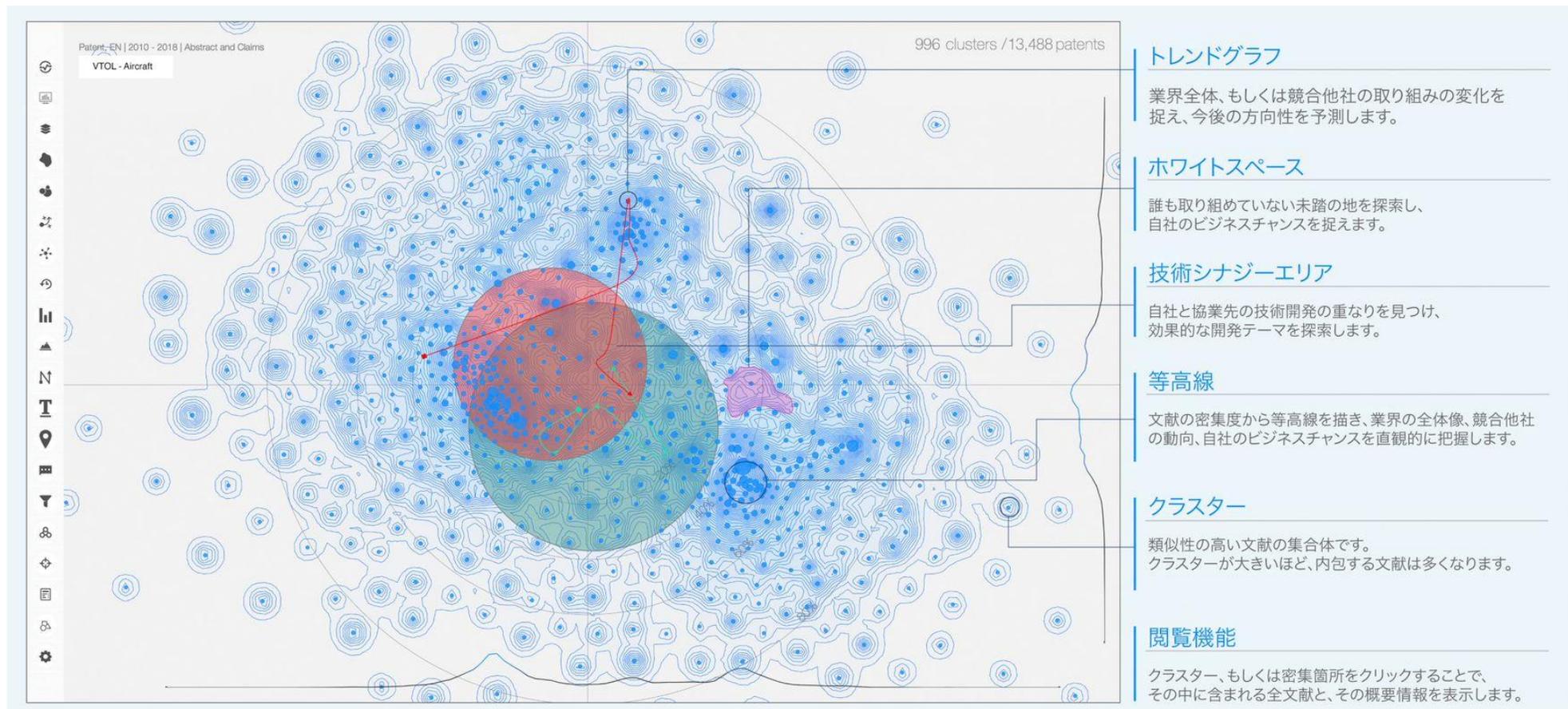


我々は、「知」を求める全ての人に価値を提供します。

# 当社ASPの検索・可視化イメージ

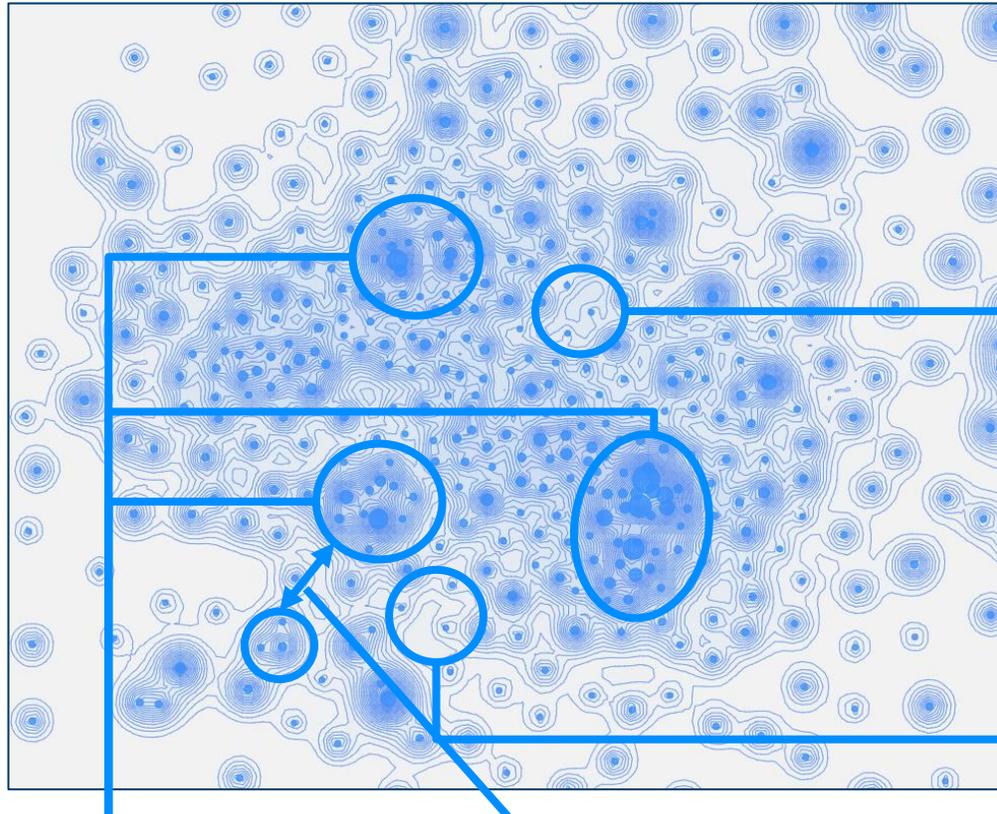
検索された文章に近い情報を短時間で収集・可視化し、欲しい情報と周辺情報が把握できます。

## 当社ASPのイメージ図（俯瞰図）



# 俯瞰図の基本的な見方

テキストデータ同士の内容の関連性に基づく配置により、大量のテキストデータの全体像を把握しやすくします。



● 各プロットは似ている文書をひとまとめにしたクラスタ

● ● クラスタの大きさは、その中に含まれる文書の数に比例

● ● ● クラスタ間の距離はクラスタ間の類似度を表現（似ているほど近い）

□ ● ● XY軸は予め定義されていない。クラスタ同士の類似性を最適に表現できるように配置を決定

**クラスタが密集**

= データセット中に多く含まれている技術や市場ニーズなどの情報

**クラスタ間の距離が近い ホワイトスペース**

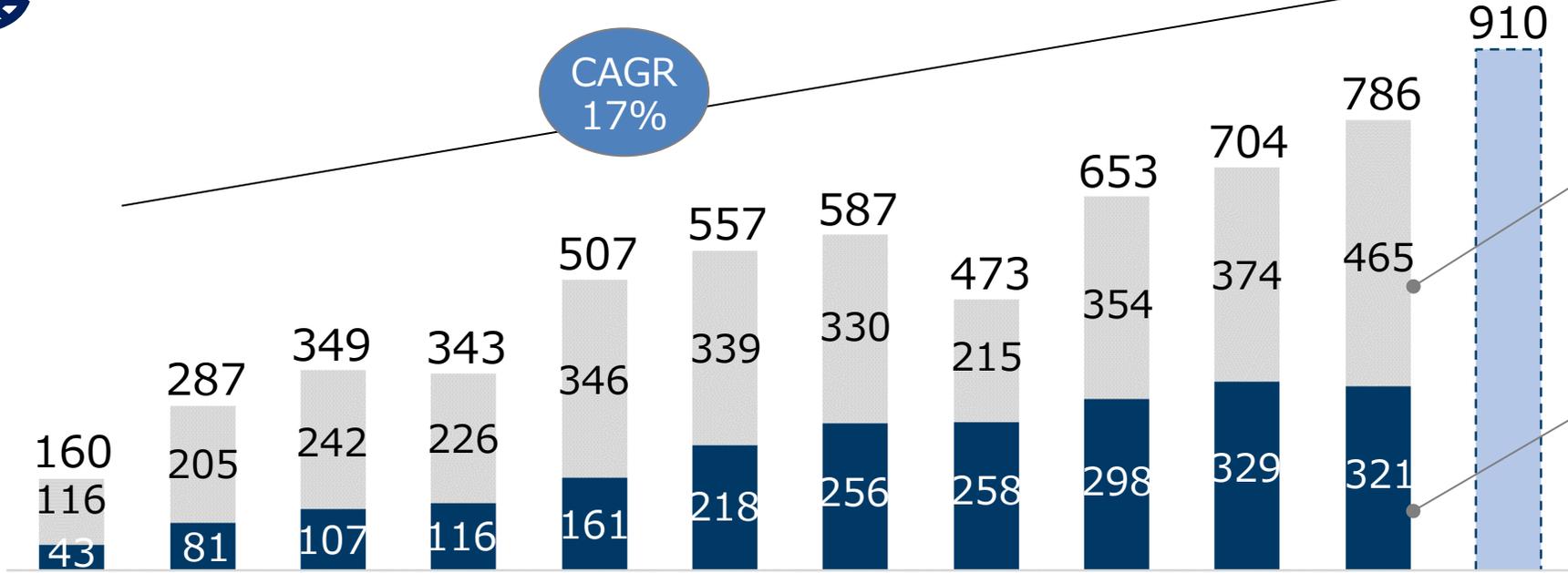
= 内容の関連性が高い

# 業績推移

単位：百万円

CAGR  
17%

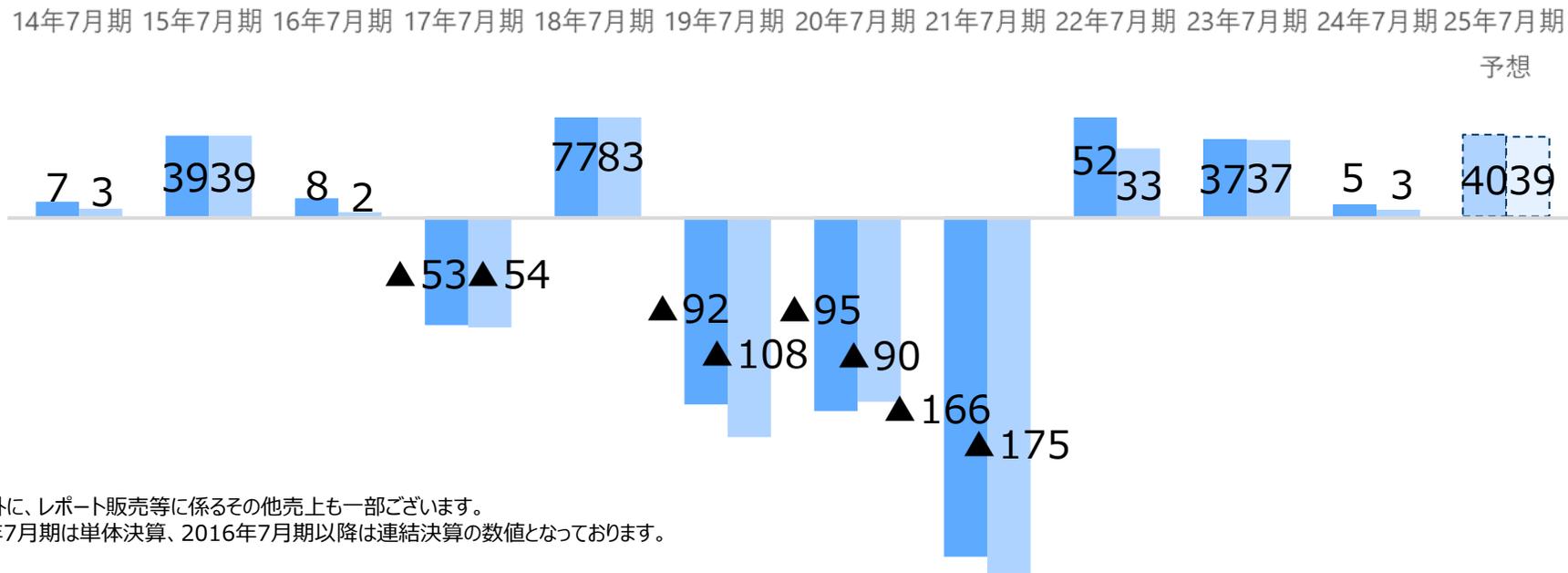
売上高注



コンサル  
テイング+  
その他売上

ASP

経常利益  
当期純利益



経常利益  
当期純利益

注：ASPとコンサルティング以外に、レポート販売等に係るその他売上も一部ございます。  
2014年7月期、2015年7月期は単体決算、2016年7月期以降は連結決算の数値となっております。

## 将来見通しに関する注意事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

# VALUENEX

FOR MORE INFORMATION:

[www.valuenex.com](http://www.valuenex.com)  
[customer@valuenex.com](mailto:customer@valuenex.com)